



■ H21(2009)年5月18日

カワラノギク保全のための初夏の除草作業ボランティアを募集しています

※ ボランティアの申込みは終了いたしました。たくさんのご応募ありがとうございます。

京浜河川事務所が多摩川の生態系を復元するために取り組んでいるレキ河原造成箇所で、カワラノギク群落の保全活動が行われています。
参加申し込み等については、『多摩川カワラノギクプロジェクト』のホームページでご確認ください。

かつて多摩川の草花のシンボルであったカワラノギクは、現在レッドデータブックでは危惧IB類とされ、近い将来において絶滅の危険性が高い種であるとされています。

カワラノギクプロジェクトは河川生態学術研究会（国土交通省京浜河川事務所が後援）多摩川研究グループにおける研究の一環として2002年の春に発足し、多摩川永田地区（右岸があきる野市、左岸が福生・羽村市に接する約1.6kmの区間）の右岸陸域の草花湿地に造成された裸地上に播種したカワラノギクを保全する活動をして



います。2006年秋には造成地に約35,000株のカワラノギクが開花しました。2007年秋、（戦後2番目の水位となった）台風9号により、2008年秋には造成地の開花個体数は約500株まで減少しましたが、新しく自然にできた隣接する裸地河原に約3,000株が拡大分布しているのが観察できました。

カワラノギクは開花後枯死しますので、これらの個体を維持するためには生育場所である河原を裸地にしておく必要があります。河原を裸地として維持するためには絶滅危惧種以外の他種の草本植物を初夏と秋に除草しなくてははいけません。

この初夏の除草作業を6月13日、6月20日に実施します。作業に参加していただける方は作業ができる服装、軍手や使いやすい除草作業用具、昼食持参で午前9時30分に永田橋左詰（福生側）にある公園にお集りください。

◇ 集合場所 ◇ 多摩川永田橋左詰の公園

（左岸のたもと、JR青梅線 福生駅から南へ徒歩15分）

◇ 開催日 ◇ 平成21年6月13日（土）、6月20日（土）の9時30分

（雨天の場合はそれぞれ6月14日（日）、7月5日（日）に順延します）

※ 雨天の場合は多摩川カワラノギクプロジェクトのホームページでお知らせします。